

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	職員研修事業				開始年度	
基本目標	職員の能力開発				終了年度	
担当課(局)	総務課	担当係	人事係	記入者	徳永恵子	評価者 間 省二
20年度決算	349	千円	21年度予算	500	千円	事業の実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	719 千円		21年度人件費	728 千円		事業従事者数 0.10 人 0.10 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	行政サービスの向上を目指し、多様化する住民ニーズに的確に対応するため職員の資質向上を図る。
事業の内容	例年実施する市町村職員研修センターの研修講座への派遣及び自治大学への研修。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 派遣職員数	多くの職員を研修に派遣することで、職員全体の資質の向上を図る。
	2 派遣講座数	多様な研修を受講することで、個々の資質の向上が図られる。
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 研修案内回数	研修案内をGWに掲載し、受講参加を募る。毎月。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	派遣職員数	目標値			30
		実績値	数	81	47
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	派遣講座数	目標値			30
		実績値	数	29	20
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	研修案内回数	目標値			12
		実績値	回	12	12
		達成率	%	100.0%	100.0%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	第5次行財政改革大綱において平成22年度までに15%の職員数削減を掲げており、減少傾向にある職員数で、高度化、多様化、複雑化する住民ニーズに対応するためには個々の職員の資質向上が不可欠であり、今後職員研修の重要性はますます高くなるといえる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	研修に応募する職員がやや固定化している傾向にあり、意欲のある職員とそうでない職員の差がある。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	研修受講により個々の職員が何かを身に付け、日々の業務に生かすことができれば効果は十分に上がる。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	町民の主催する勉強会、フォーラム等に職員が参加し、研修等で学んだ内容を含め行政の業務等を認識してもらうことは、町民との協働へは必要不可欠である。

事務事業名	職員研修事業	担当課(局)	総務課
-------	--------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	これからの行政は少数精鋭の職員を育成していかなければならない。その一環を担うには研修等に参加するなど知識の広い職員の育成に努めなければならない。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
					○		
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎人材育成にはコストはかかるものだと認識している。きちんとした研修制度を組み、特に意欲のある若い世代については、積極的に研修費を手当すべきと考える。
	コスト	現状維持	